

人物相関図



原作
衝撃のノンフィクション待望の復刊!
原作:「マイ・バック・ページ」川本三郎(平凡社刊)

主題歌
奇跡のコラボレーション!
主題歌:「My Back Pages」真心ブラザーズ+奥田民生(キューンレコード)

マイ・バック・ページ
妻夫木聡 松山ケンイチ
忽那汐里 石橋杏奈 韓英恵 / 中村 蒼
長塚圭史 山内圭哉 古館寛治 あがた森魚 三浦友和

監督:山下敦弘 脚本:向井康介
原作:川本三郎「マイ・バック・ページ」(平凡社刊) 音楽:ミト (fromクラムボン)、きだしゆんすけ
プロデューサー:青木竹彦 起原伸之、定井典二 タイミング:アロウサー 大塚隆博 撮影:尾形謙一 照明:藤井勇 美術:安宅忠志
製作:映画「マイ・バック・ページ」製作委員会(WOWOW、バンダイビジュアル、アスミック・エース エンタテインメント、日活、ホリプロ、ビターズ・エンド、Yahoo! JAPAN、マッチポイント)
企画・制作プロダクション:WOWOW FILMS、マッチポイント 制作協力:ビターズ・エンド 配給:アスミック・エース
2011 日本/カラー/141分/ヴィスタサイズ/ドルビーデジタル ©2011映画「マイ・バック・ページ」製作委員会

激動の時代。若者たちは何を求め、
何を手に入れようとしたのか?



新宿ピカデリー 03(5367)1144	丸の内TOEI② 03(3535)4741	渋谷TOEI② 03(5467)5773	シネ・リーブル池袋 03(3590)2126
ユナイテッド・シネマ豊洲 03(6219)3000	シネマメディアージュ 03(5531)7878	ユナイテッド・シネマどしめん 03(5912)9800	MOVIX 亀有 03(5629)7200
TOHOシネマズ西新井 03(5888)1040	TOHOシネマズ錦糸町 03(5637)1040	吉祥寺パウスシアター 0422(22)3555	MOVIX 昭島 042(500)5900
109シネマズグランパリーモール 0570(012)109	109シネマズMM横浜 045(664)0109	TOHOシネマズららぽーと横浜 045(929)1040	109シネマズ川崎 0570(007)109

●劇場窓口にて数量限定●
沢田(妻夫木聡)と梅山(松山ケンイチ)のW表紙!
＜あなたの1ページを刻む＞特製ノート付
特別鑑賞券 絶賛発売中!!
一般: ¥1,300
当日一般: ¥1,800 / 大高生: ¥1,500の処 (一部劇場を除く)
※表示料金税込 ※数量限定につき、無くなり次第終了となります
※一部劇場では取り扱っておりません

1971年。若きジャーナリストと革命家。二人の出会いが引き起こした衝撃の事件。
激動の時代に翻弄された若者たちのすべて。



俺たちは、何を“信じるのか”?

「リンドラリンドラ」「天然コケッコー」
山下敦弘 監督 最新作

マイ・バック・ページ

妻夫木聡 松山ケンイチ

忽那汐里 石橋杏奈 韓英恵 / 中村 蒼

長塚圭史 山内圭哉 古館寛治 あがた森魚 三浦友和

脚本:向井康介 原作:川本三郎「マイ・バック・ページ」(平凡社刊) 音楽:ミト (fromクラムボン)、きだしゆんすけ

主題歌:「My Back Pages」真心ブラザーズ+奥田民生(キューンレコード)

製作:映画「マイ・バック・ページ」製作委員会(WOWOW、バンダイビジュアル、アスミック・エース エンタテインメント、日活、ホリプロ、ビターズ・エンド、Yahoo! JAPAN、マッチポイント)
企画・制作プロダクション:WOWOW FILMS、マッチポイント/制作協力:ビターズ・エンド/配給:アスミック・エース

mbp-movie.com



5/28 (Sat.) 公開

「悪人」

『ノルウェイの森』

『リンダ リンダ リンダ』

妻夫木 聡 × 松山ケンイチ 遂に初共演! 監督:山下敦弘が挑む新境地! 日本映画界屈指の才能たちが、<実在の事件>を基に描く、衝撃と感動のドラマが誕生!!

理想に燃える
ジャーナリスト
沢田



NHK大河ドラマ「天地人」で国民的俳優となり、最新作『悪人』では日本アカデミー賞最優秀主演男優賞の栄冠を手にした妻夫木 聡。『GANTZ』『ノルウェイの森』など様々な話題作で多彩な魅力を披露し続ける松山ケンイチ。今や日本を代表する二大スターが、本作で満を持して初共演を果たす。監督は05年『リンダ リンダ リンダ』を大ヒットに導き、今最も注目を集める若き奇才・山下敦弘。原作は文芸・映画評論、翻訳、エッセイなど広く活躍する川本三郎の、自らがジャーナリスト時代に経験した日々を綴った衝撃のノンフィクション。共演者には、忽那汐里、石橋杏奈、韓英恵、中村 蒼といった新進気鋭の若手から、長塚圭史、山内圭哉など舞台の実力派俳優、さらには三浦友和

年代が年代だけに、いろんな見方ができる作品だと思う、まさに賛否両論でしょう。でも、僕らはこの作品の中で確実に生きている。「何か」を求め、がむしゃらに突き進んだ姿は真実です。ありのままの僕たちを見て、そして感じてほしい、今を。
妻夫木 聡



君は誰なんだ?
君らが目指したのって何なんだ?

革命を目指す
活動家
梅山



「戦争」は今でもあります。ただ日本はそれが見えない状況にある。でも、この世界は全てつながっているの、日本も、そこにいる僕たちも、戦争に間接的に関わっています。この時はベトナム戦争がありました。日本も参加していました。そしてこういう状況を壊そうとしていたのが当時の若者達でした。この時代を僕は今を生きる若者として、後に残したいと思います。
松山ケンイチ



その時代、暴力で世界は 変えられると信じていた——

1969年。新聞社で週刊誌編集者として働く沢田(妻夫木 聡)。彼は激動する「今」と葛藤しながら、日々活動家たちを追いかけていた。それから2年、取材を続ける沢田は、先輩記者・中平とともに梅山(松山ケンイチ)と名乗る男からの接触を受ける。「銃を奪取し武器を揃えて、われわれは4月に行動を起こす」沢田は、その男に疑念を抱きながらも、不思議な親近感を覚え、魅かれていく。そして、事件は起きた。「駐屯地で自衛官殺害」のニュースが沢田のもとに届くのだった一。



『マイ・バック・ページ』を巡る1969年~1972年の基礎知識

①時代

本作は1969年~1972年までの時代が描かれる。当時はアポロ11号の月面着陸、大阪万博の開催などの華やかな出来事の裏で、高度経済成長の結果生まれた、公害問題などの社会の歪み。大学の学生数増による大衆化。日本の身近にあったベトナム戦争。これらを背景に、ごく普通の若者たちが、危機意識を持って、何かを変えようと学生運動に身を投じていた時代だった。

②学生運動

1968年東京大学、日本大学などで、大学側の方針に不満を持った学生が「全学共闘会議」(全共闘)という闘争組織を結成。1969年、東大安田講堂に立てこもった学生たちが機動隊により排除されるのを機に東大、日大での闘争が下火になる一方、学生運動は全国に拡大。安保反対闘争、ベトナム反戦運動など様々な政治的テーマを帯びていくようになり、過激な武力闘争を行う「過激派」も台頭していくようになる。

③当時の流行

1969年	<主な出来事> 東大安田講堂攻防戦/アポロ11号人類初の月面有人着陸 <音楽> 「ブルー・ライト・ヨコハマ」(いしだあゆみ) 「恋の奴隷」(青江美奈) <映画> 「真夜中のカーボーイ」 『イージー・ライダー』
1970年	<主な出来事> 大阪で日本万国博覧会開催/ビートルズ解散/都内で初の歩行者天国 <音楽> 「明日に架ける橋」(サイモン&ガーファンクル) 「Let it be」(ビートルズ) <TV> 「明日のジョー」放送開始
1971年	<主な出来事> マクドナルド日本1号店オープン/カップヌードル発売/沖縄返還協定調印式 <音楽> 「また逢う日まで」(尾崎紀世彦) 「真夏の出来事」(平山三紀) <映画> 「ファイブ・イージー・ビーセス」 『屋根の上のバイオリン弾き』